

ニュースレター

講演会交流会号

令和5年12月15日発行

ご挨拶

みなさま、こんにちは。

例年になく暖かい師走となっておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

今回のニュースレターでは、令和5年10月26日(木)に実施した、講演会・交流会についての様子をお届けします。

講演会・交流会を開催しました！

4年ぶりの開催となる今回の講演会・交流会。
今年度は Zoom でのオンライン開催となりました。
保護者の皆様、管内関係機関の方々を合わせて、
14名の皆様にご参加頂きました。



松井徹也先生

講演会は、

スマイルリハ訪問看護ステーション松戸所長 松井徹也先生
をお招きし、在宅療養をしている患児の姿勢のこと、移動の工夫
についてお話を頂きました。

交流会は親子で一緒にいけるスポットや、移動時やお出かけ時に
できる工夫について情報共有しました。



保護者の皆様とストレッチ！



講演会での学び

松戸保健所では定期的に講演会・交流会を実施しています。
「こんな講演会をしてほしい」といった御要望がありましたら、ぜひお聞かせください。
また、皆様からの相談にも保健師が対応いたします。

お問い合わせ先

〒271-8562 千葉県松戸市小根本7

千葉県松戸保健所 地域保健課 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業担当

TEL 047-361-2138 (平日:8:30~17:15)

講演会

「医療的ケア児のポジショニングとケアのポイントについて」

講演会での学びをご紹介します！

・ポジショニングとは？

身体の各部分の位置を整え、心身ともに楽に過ごせる姿勢や活動しやすい姿勢を作ってあげること。

・ポジショニングの基本と工夫

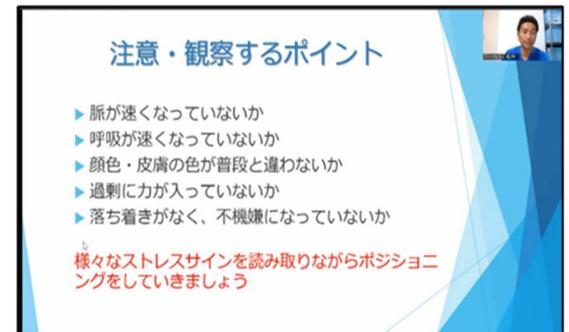
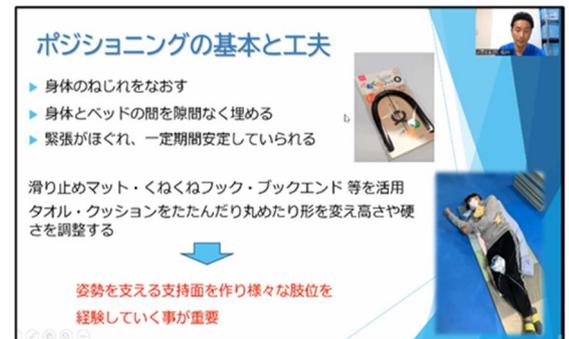
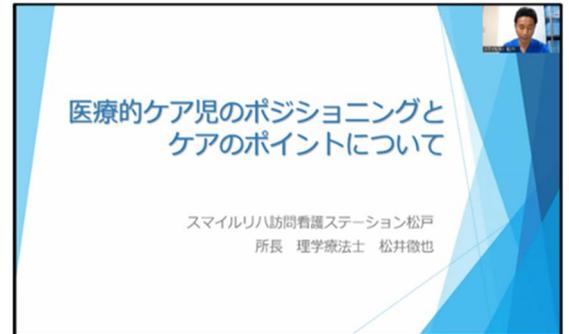
- ①身体のねじれをなおす
- ②身体とベッドの間を隙間なく埋める
- ③緊張がほぐれ、一定期間安定していただける姿勢を支える支持面を作り、様々な肢位を経験していくことが重要！

・ポジショニングの注意点

- ①長時間同じ姿勢にならないようにする
- ②特性を理解した個別的な対応が必要
- ③固定しすぎず活動を妨げないようにする

・身体を動かすポイント

- ①視界に入って声掛けをする
- ②動かす関節の近くを支える、手のひら全体で触れる（指先は筋緊張が伝わる）
- ③動く範囲を確認する、ゆっくりと動かす



交流会

1. 親子で一緒にいけるスポット

皆様から共有いただスポットをご紹介します。

- ・あけぼの山農業公園（柏市）
- ・柏ふるさと公園（柏市）
- ・柏の葉公園（柏市）
- ・アンデルセン公園（船橋市）
- ・三番瀬海浜公園（船橋市）



あけぼの山農業公園

航空会社所定の診断書を医師に書いてもらい、バッテリーを十分に用意した上で機内で呼吸器を使用し、沖縄に行った人もいる、とのお話もありました！

2. お出かけ時の工夫

保護者の方からは長時間外出時の加温加湿器の利用について質問もありました。

内臓バッテリーの控えがあれば持参し、それでも心配であればポータブル電源を持参する。蒸留水はいつも使用している一日の頻度にあわせ持参すれば良い、とアドバイス頂きました。

具体的には普段お世話になっている医師や訪問看護師に相談してみてくださいね。